Recdia
操作マニュアル

株式会社サン・データセンター

【Recdia 操作マニュアルの読み方】

◆ 本書の構成

本書は、Recdia の操作マニュアルを章単位に分割したものです。

ここでは、『第2章　Recdia を使用する前に』を解説します。

各ページには、その目的で必要になる手順の画面と操作方法を掲載しています。

◆ 用語について

文章は基本的にパソコンで使用されている用語を用いて説明しています。

よく使われている用語を以下に説明します。

デスクトップ	Windows の画面全体のこと。
フォルダ	ファイルを整理するために使われる分類。 名前のついた引き出しのようなもの。
ファイル	データに名前をつけて保存したもの。
ポインタ	マウスの動きに合わせて画面を動く目印。 通常は矢印の形をしている。
カーソル	文字を入力する時に表示される垂直の点滅する棒のこと。
ショートカットキー	マウスでの操作のかわりに、キーボードキーで実行する操作。
クリック	マウスの左ボタンを1回押す操作。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回押す操作。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したまま、マウス本体を動かすこと。

※クリック方法について

本書では Windows の標準であるダブルクリックモード（一度クリックして選択し、ダブルクリックで開くという方法）を採用しています。

シングルクリックモード（一度クリックして開くという方法）を採用している方は、文章中のダブルクリックをシングルクリックに読みかえてご使用下さい。

（どちらのクリック方法を採用しているか確認したい場合は、エクスプローラを開いて、[ツール]メニューの中の[フォルダオプション]を選択し、[全般]というタブをクリックして下さい。）

当製品は、財団法人テクノエイド協会の助成金による事業で開発されたものです。
開発協力　日本点字図書館

2. Recdia を使用する前に

2-1. ユーザー登録をする ・・・・・・・・・ 4

2-2. マイク･イヤホンの準備 ・・・・・・・ 11

2-3. Recdia を起動する ・・・・・・・・・・・ 12

2-4. 各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

2-5. 準備が終ったら ・・・・・・・・・・・・・ 23

【2-1.ユーザー登録をする】

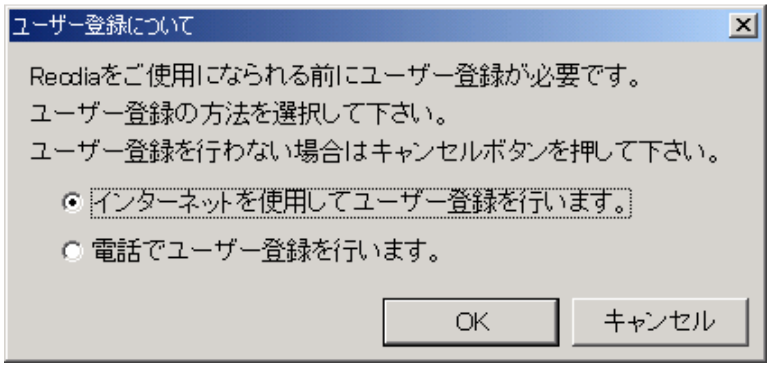
Recdia を使用するには、必ずユーザー登録を行う必要があります。
ユーザー登録には 2 つの方法があります。

（1）インターネット経由によるユーザー登録
（2）電話連絡によるユーザー登録（手動によるユーザー登録）

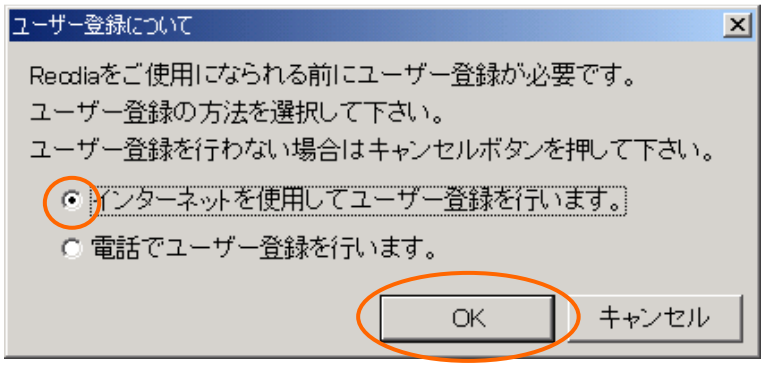
初起動時に登録を行いますと、次回起動時からは必要ありません。
Recdia をアンインストールした場合は再度登録が必要になります。
インターネットに接続可能な方は以下の（1）インターネット経由によるユーザー登録を行って下さい。

（1） インターネット経由によるユーザー登録

①インターネットに接続した状態で Recdia を起動すると、以下の画面が表示されます。

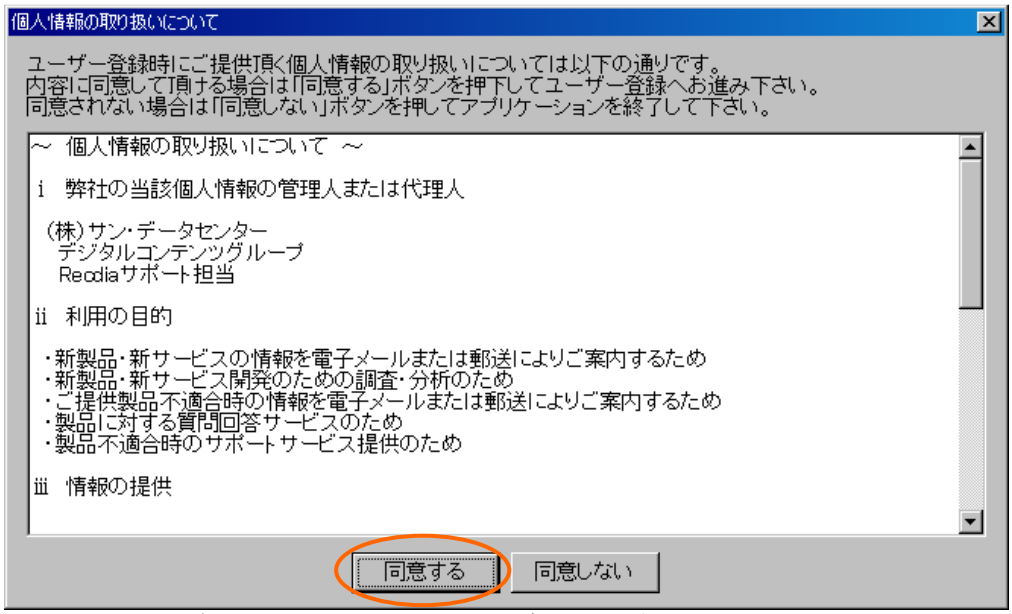


②「インターネットを使用してユーザー登録を行います。」を選択し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



※「電話でユーザー登録を行います。」を選択した場合は
（2） 電話連絡によるユーザー登録を参照して下さい。

③以下の画面が表示されますので、内容を確認して[同意する]ボタンをクリックして下さい。

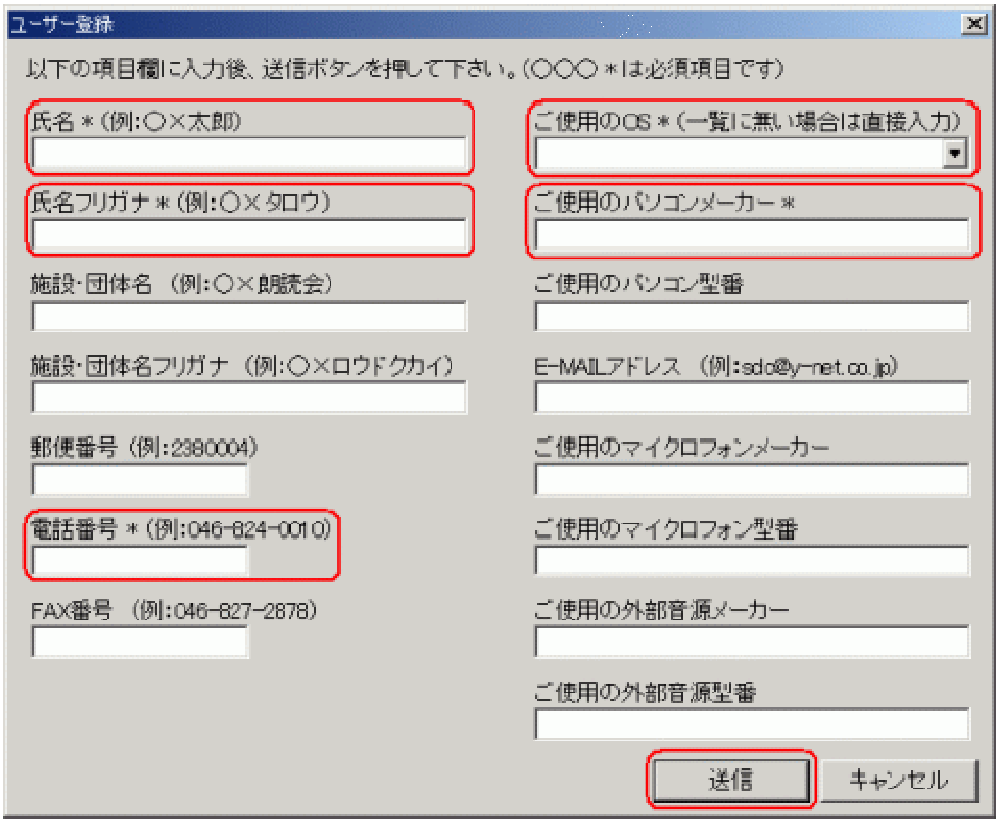


※[同意しない]ボタンをクリックすると、ユーザー登録が中断され Recdia は起動しません。

④ユーザー登録画面が表示されますので、必要事項を入力し[送信]ボタンをクリックして下さい。

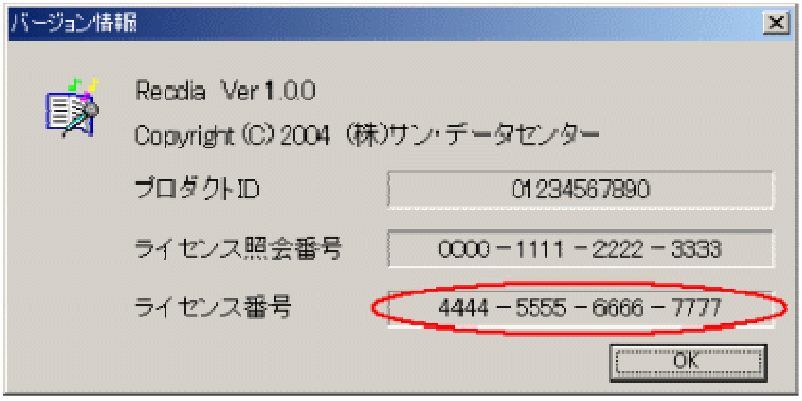
＊マークのついている項目は必須項目です。必ず入力して下さい。

（詳細は （3）ユーザー登録画面 を参照して下さい。）



※送信される個人情報は SSL という技術により暗号化された状態で弊社まで届きます。

⑤送信が完了しますと、自動的にライセンス番号が登録され、Recdia が起動します。
登録されたライセンス番号は Recdia のヘルプのバージョン情報で確認できます。



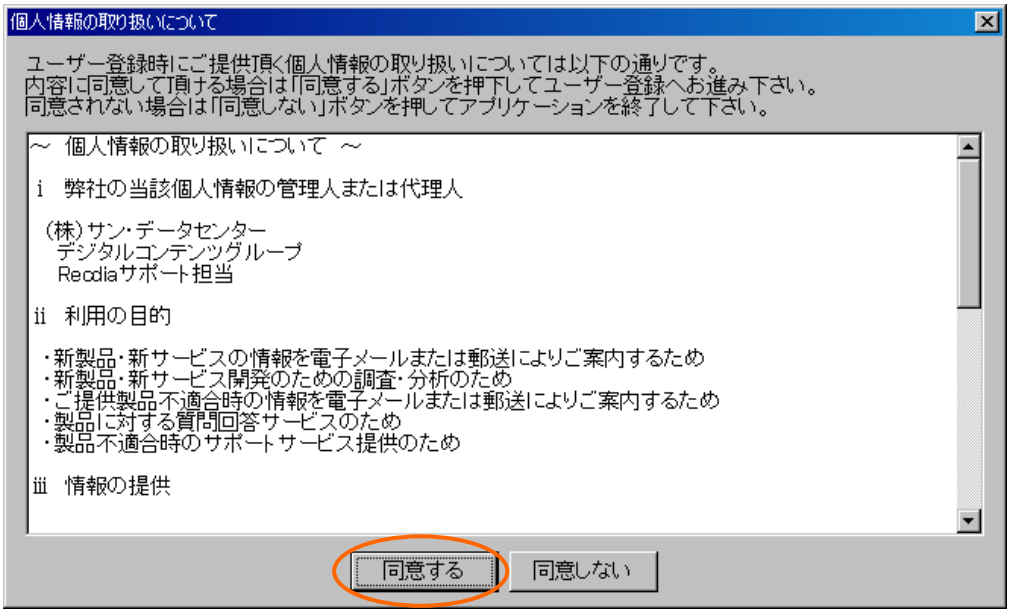
⑥ユーザー登録画面の[キャンセル]ボタンをクリックしますと、ユーザー登録は中止され、
Recdia は起動されません。

（2） 電話連絡によるユーザー登録

電話によるユーザー登録は原則として以下の場合に行います。

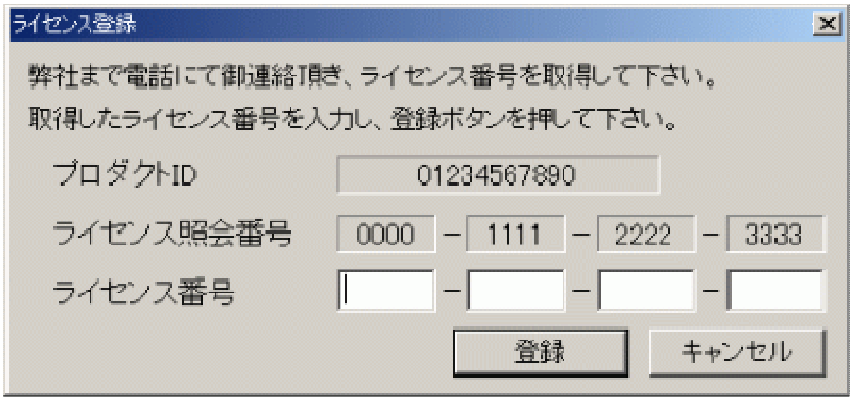
・Recdia 起動時にインターネット環境が使用できない
・（1）の①で表示された画面で「電話でユーザー登録を行います。」を選択

①以下の画面が表示されますので、内容を確認して[同意する]ボタンをクリックして下さい。



※[同意しない]ボタンをクリックすると、ユーザー登録が中断され Recdia は起動しません。

②ライセンス登録画面が表示されます。

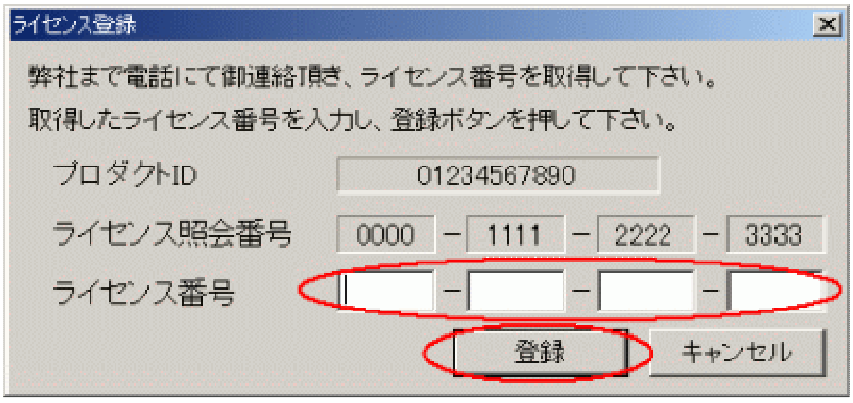


③弊社までお電話下さい。(電話番号:046-824-8414)
受付時間:9:00～17:30(土曜・日曜・祝日を除く)

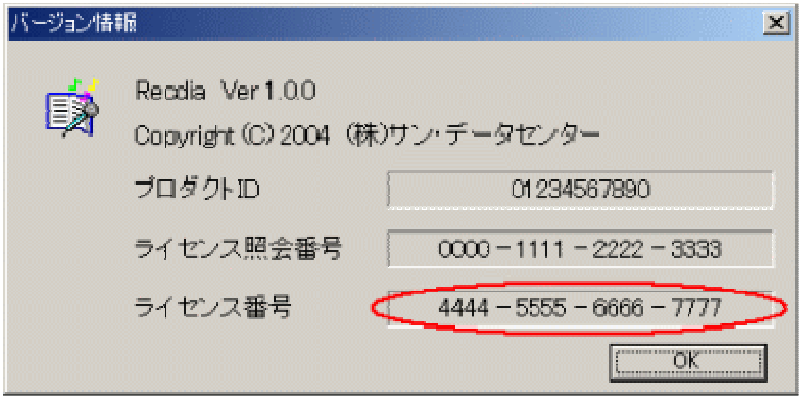
④弊社の担当オペレーターが必要な個人情報を質問します、回答して下さい。

⑤ユーザー登録が完了しますと、ライセンス番号をお知らせ致します。
メモ等のご準備をして頂き、紛失されないようご注意下さい。

⑥ライセンス登録画面のライセンス番号欄にお知らせしたライセンス番号を入力し、
[登録]ボタンをクリックして下さい。



⑦ライセンス登録が完了しますと、Recdia が起動します。
登録されたライセンス番号は Recdia のヘルプのバージョン情報で確認できます。



⑧ライセンス登録画面の[キャンセル]ボタンをクリックしますと、ライセンス登録は中止され、
Recdia は起動されません。

※ 登録していただいた個人情報については、不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩等を防止するために処置を講じて、保護に努めています。

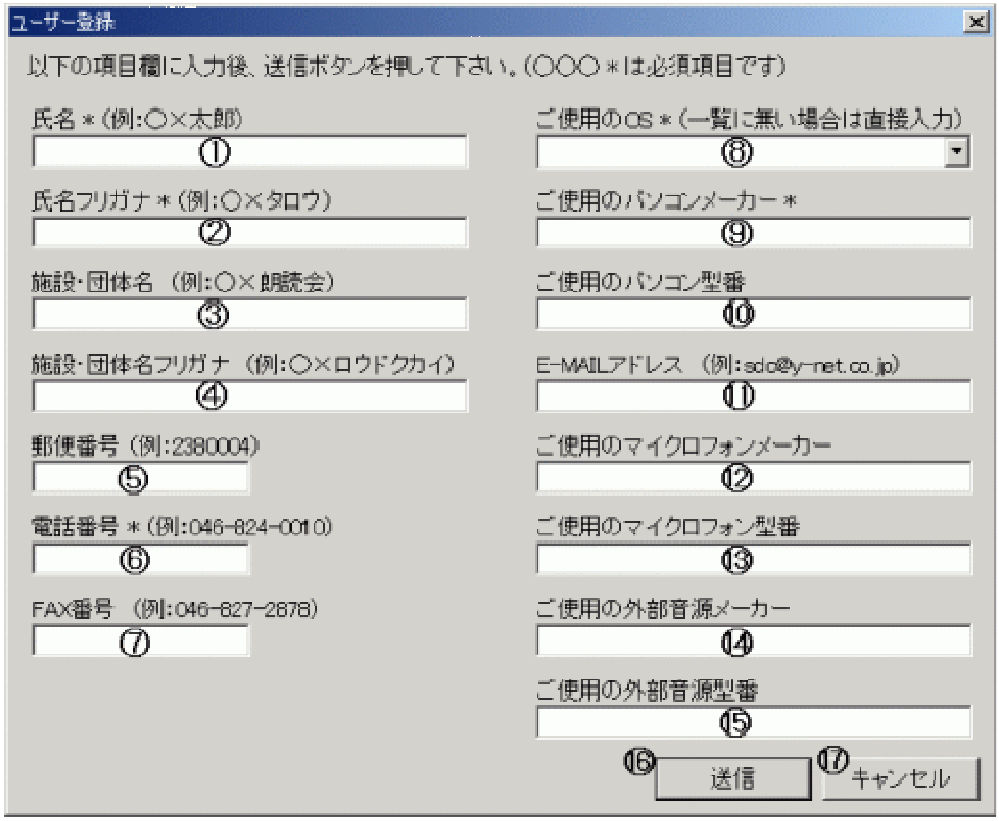
※ ユーザー登録をしていただくことにより、

- 詳細なサポートが受けられる
- 多くの事例の中からサポートが受けられる
- 類似の事例の中から迅速に対応して貰える

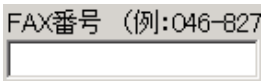
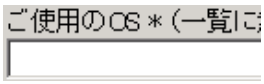
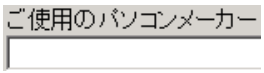
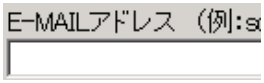
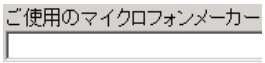
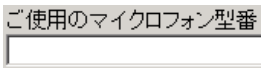
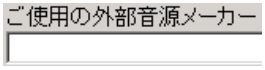
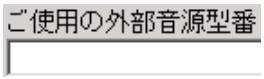
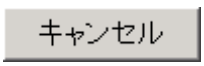
以上のような利点があります。

注意！
・Recdia を再インストールしたけど、ライセンス番号を忘れてしまった
・OS の再インストールやハードディスクのフォーマット後に Recdia を再インストールした
以上の場合には、ライセンス番号の再取得が必要になりますので弊社に電話をして、再度ライセンス番号を取得して下さい。

（3） ユーザー登録画面



①氏名＊	
氏名＊(例:○×太郎)	氏名を漢字で入力して下さい。(※必須入力) (例:○×太郎)
②氏名フリガナ＊	
氏名フリガナ＊(例:○×	氏名をカタカナで入力して下さい。(※必須入力) (例:○×タロウ)
③施設・団体名	
施設･団体名 (例:○×	施設・団体名を漢字で入力して下さい。 (例:○×朗読会)
④施設・団体名フリガナ	
施設･団体名フリガナ (	施設・団体名をカタカナで入力して下さい。 (例:○×ロウドクカイ)
⑤郵便番号	
郵便番号 (例:238000	郵便番号を入力して下さい。 (例:2380004)
⑥電話番号＊	
電話番号＊(例:046-82	電話番号を入力して下さい。(※必須入力) (例:046-824-0010)

⑦FAX 番号	
	FAX 番号を入力して下さい。 (例:046-827-2878)
⑧ご使用の OS*	
	ご使用の OS を選択して下さい。(※必須入力) 一覧にない場合は直接入力して下さい。 (例:Windows2000)
⑨ご使用のパソコンメーカー*	
	ご使用のパソコンメーカーを入力して下さい。(※必須入力) (例:IBM)
⑩ご使用のパソコン型番	
	ご使用のパソコン型番を入力して下さい。 (例:xxxx-xx)
⑪E-MAIL アドレス	
	E-MAIL アドレスを入力して下さい。 (例:sdc@y-net.co.jp)
⑫ご使用のマイクロフォンメーカー	
	ご使用のマイクロフォンメーカーを入力して下さい。
⑬ご使用のマイクロフォン型番	
	ご使用のマイクロフォン型番を入力して下さい。
⑭ご使用の外部音源メーカー	
	ご使用の外部音源メーカーを入力して下さい。
⑮ご使用の外部音源型番	
	ご使用の外部音源型番を入力して下さい。
⑯送信ボタン	
	入力した項目を送信します。
⑰キャンセルボタン	
	ユーザー登録を中止します。

【2-2.マイク・イヤホンの準備】

（1）マイクとイヤホンをパソコンに接続します。

① マイクをつなげるには

パソコンのマイク端子（マイクマークの部分）にマイクのプラグを接続します。

② イヤホンをつなげるには

パソコンのイヤホン端子（サウンドマークの部分）にイヤホンのプラグを接続します。

※イヤホンの他、ヘッドホン・スピーカーでもお使いいただけます。

（2）ボリュームコントロールを確認します。

ボリュームコントロールでは、再生や録音の音量の調整を行うことができます。

【6-2-5. 再生ボリュームコントロール】、【6-2-6. 録音ボリュームコントロール】を参照して確認を行って下さい。

注意！

・パソコンの機種により異なる場合があります。上記内容と異なる場合には、パソコンの取扱説明書に従ってください。

・USB音源をご使用の場合は、ボリュームコントロール画面で音の調整が行えない場合があります。この場合には、USB音源の説明書に従って接続し、調整して下さい。

【2-3.Recdia を起動する】

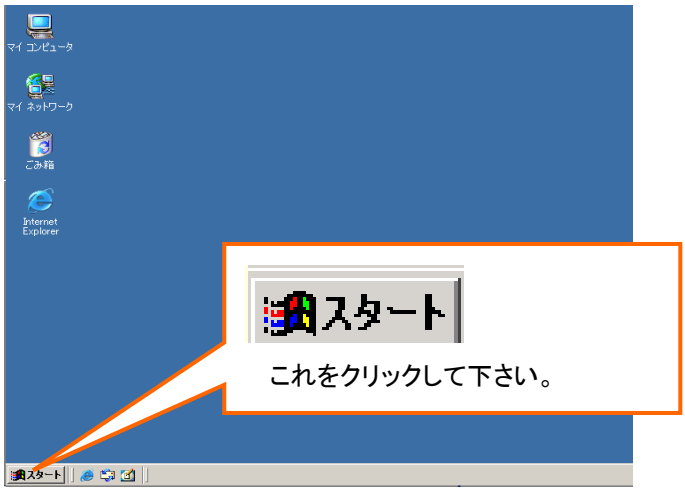
Recdia を起動するには、デスクトップ上のアイコンから起動する方法と、スタートメニューから起動する方法があります。

（1）デスクトップ上のアイコンから起動する場合

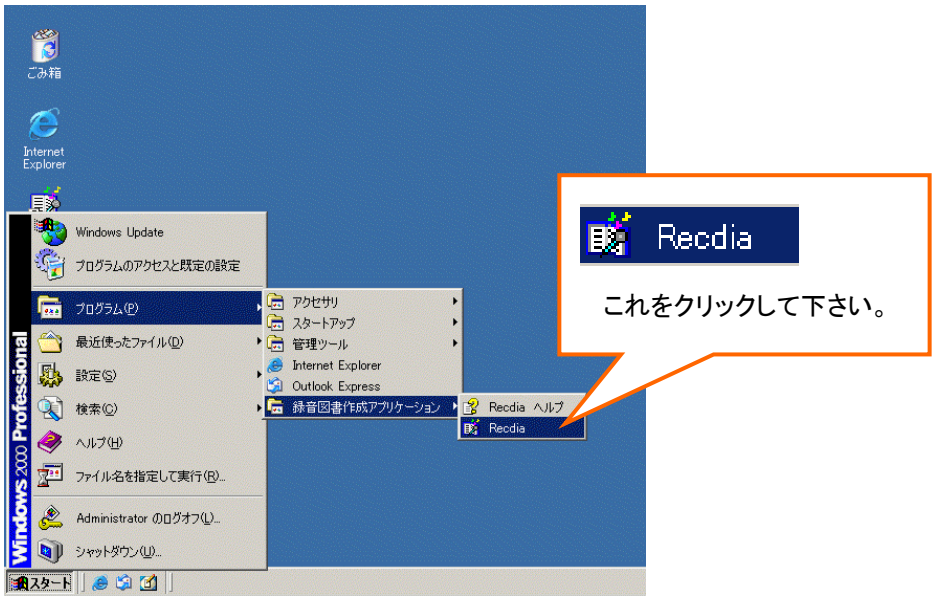
Recdia をインストールすると、デスクトップに左記のアイコンが表示されます。これをダブルクリックして下さい。

（2）スタートメニューから起動する場合

1）画面下の[スタート]ボタンをクリックして下さい。



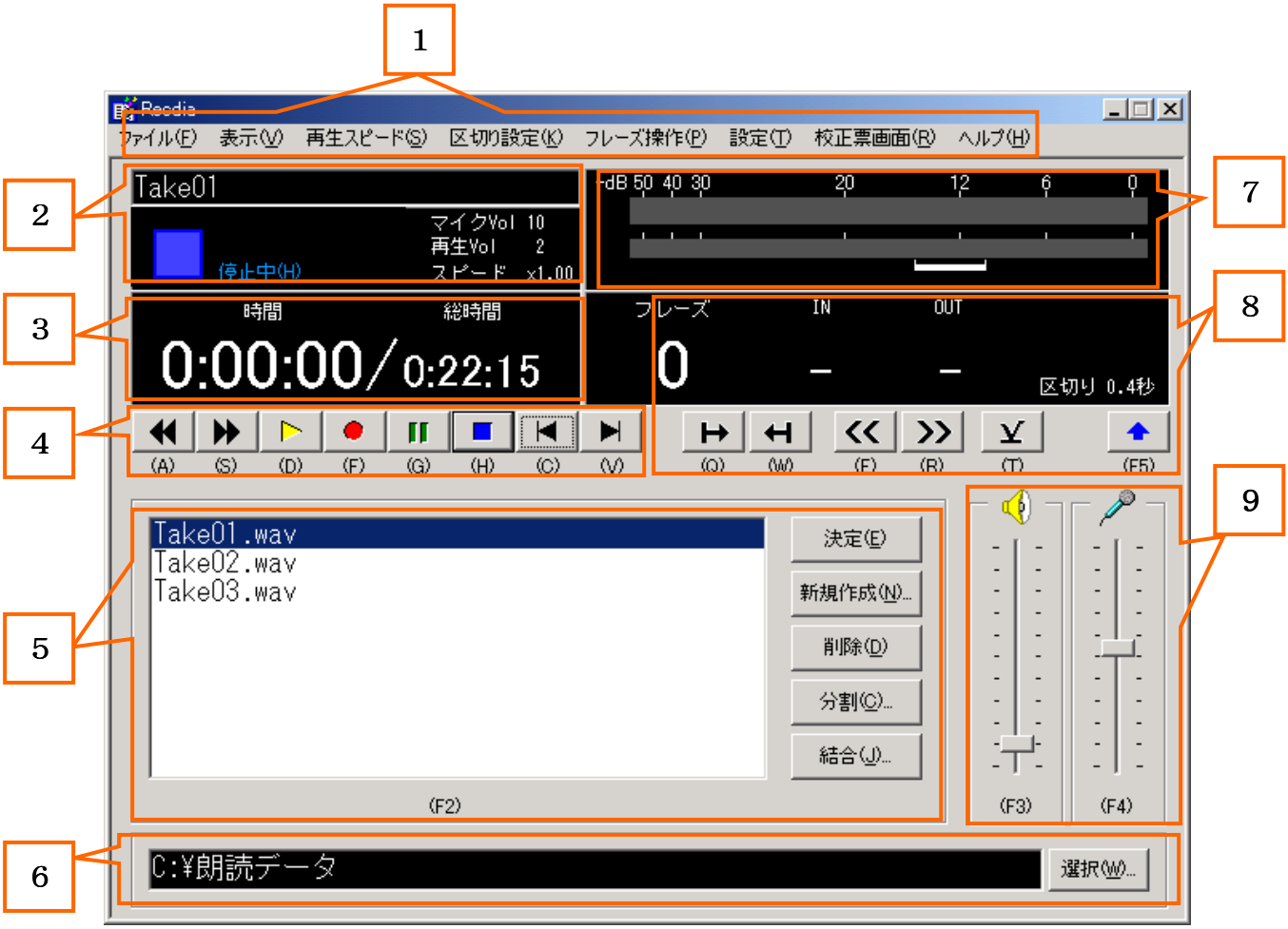
2）表示されたメニューの中から [プログラム]にポインタを合わせます。
（ポインタを合わせるとメニューの色が反転します。）
右側にプログラム内容が表示されるので、その中の[録音図書作成アプリケーション]にポインタを合わせます。さらに右側に表示される[Recdia]をクリックして下さい。



【2-4.各部の名称】

◆ Recdia の画面について説明します。

（1）Recdia 全体図



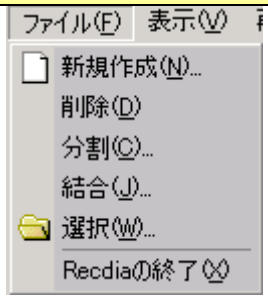
（2）Recdia　縮小画面

F5 キーを押すと、全画面表示と縮小画面表示を切り替えることができます。

（3）各部の名称

1

①ファイル



・新規作成

新しい Wave ファイルを作成します。

・削除

Wave ファイルを削除します。

・分割

一つの Wave ファイルを二つに分割します。

・結合

二つの Wave ファイルを一つに結合します。

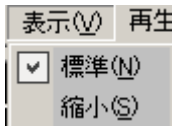
・選択

新規作成または編集・再生したい Wave ファイル
の保存先フォルダを選択します。

・Recdia の終了

Recdia を終了します。

②表示



画面の表示を切り替えます。

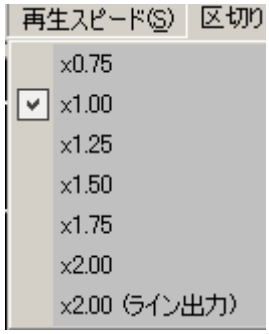
・標準

全画面を表示した状態。

・縮小

ファイルリストなどを非表示にした状態で表示します。

③再生スピード

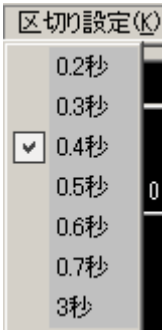


再生スピードの設定を行います。
数値が大きくなるほど、再生スピードが速くなります。
音程を変えずに倍速で再生することができます。

・x2.00（ライン出力

倍速録音に対応しているカセットデッキの場合は、
これを使用して倍速でダビングすることもできます。

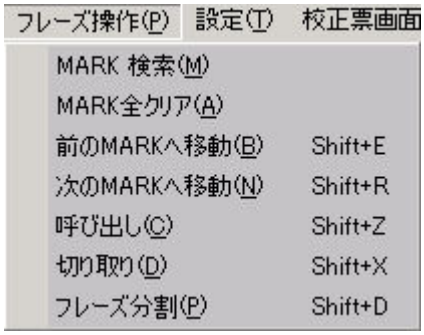
④区切り設定



フレーズの区切りを設定します。
数値は区切りとみなされる秒数です。
（停止中のみ選択が可能です。）

⑤フレーズ操作

（詳細は8. フレーズの移動を参照して下さい。）



・MARK 検索

MARK ボタンでチェックしたフレーズのみ、BACK、NEXT ボタンでのフレーズ移動が可能になります。

・MARK 全クリア

設定済みの MARK を全て解除します。

・前の MARK へ移動

MARK されている前のフレーズへ移動することができます。

・次の MARK へ移動

MARK されている次のフレーズへ移動することができます。

・呼び出し

前回作業していた IN・OUT 設定を呼び出すことができます。

・切り取り

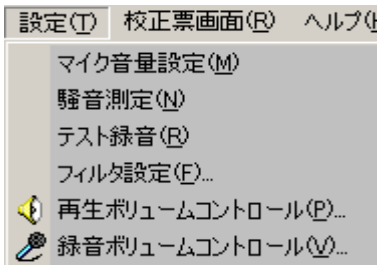
IN・OUT で設定した間のフレーズを切り取ることができます。

・フレーズ分割

フレーズを分割することができます。

⑥設定

（詳細は6. 各種設定を参照して下さい。）



・マイク音量設定

マイクの音量を設定します。

・騒音測定

自動で騒音を測定します。

・テスト録音

録音を行うユーザーの音声データを収集します。（音声補正機能で使用します。）

・フィルタ設定

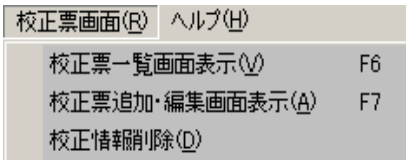
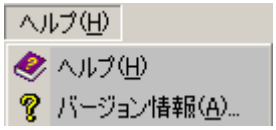
音声補正の目標値を設定します。

・再生ボリュームコントロール

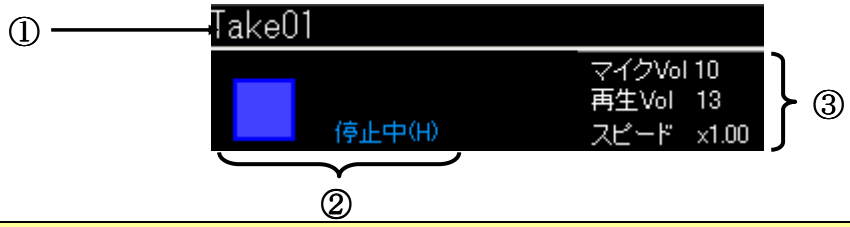
パソコンのボリュームコントロール画面を開くことができます。

・録音ボリュームコントロール

パソコンの録音コントロール画面を開くことができます。

⑦校正票画面 （詳細は別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。）	
	･校正票一覧画面表示 校正票一覧画面を表示します。 ･校正票追加･編集画面表示 校正票追加画面を表示します。 ･校正情報削除 現在選択中のファイルの校正票を削除します。
⑧ヘルプ	
	･ヘルプ ヘルプ画面が表示されます。 ･バージョン情報 Recdia のソフトの情報が表示されます。

2

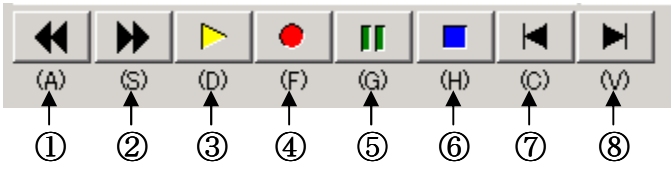


①選択ファイル名表示	
	現在選択している Wave ファイル名を表示します。
②録音･再生作業状態表示	
	現在選択している Wave ファイルの作業状態（再生中、録音中など）を表示します。
③ボリューム･スピード表示	
	現在のマイクのボリューム、再生ボリューム、再生スピードを表示します。

3

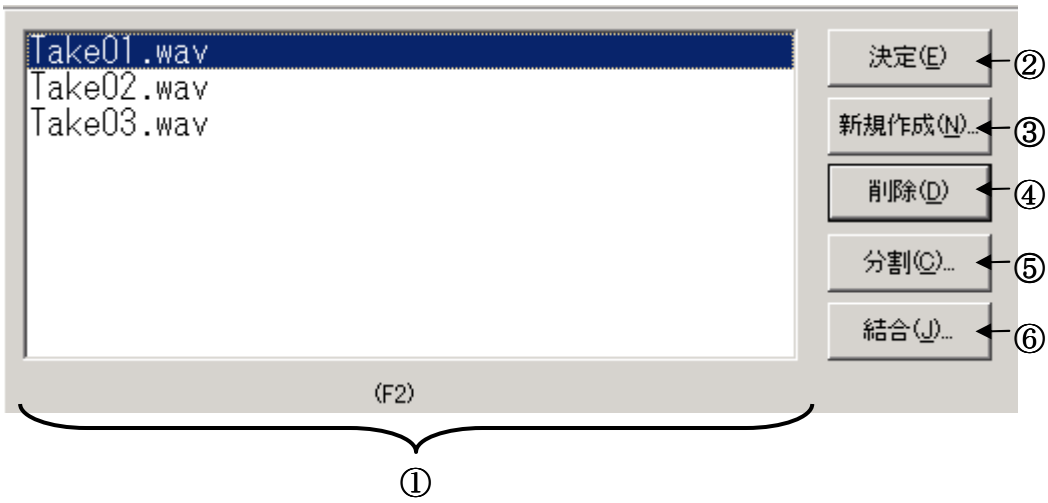
時間･総時間	
	･時間 現在録音･再生中の時間を表示します。 ･総時間 録音･再生する Wave ファイルの総時間を表示します。 ※時間または総時間の上でクリックすると、校正票が表示されます。 （校正票については、別冊の『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。）

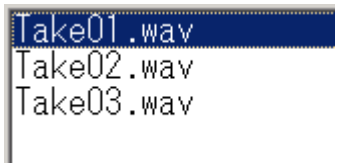
4



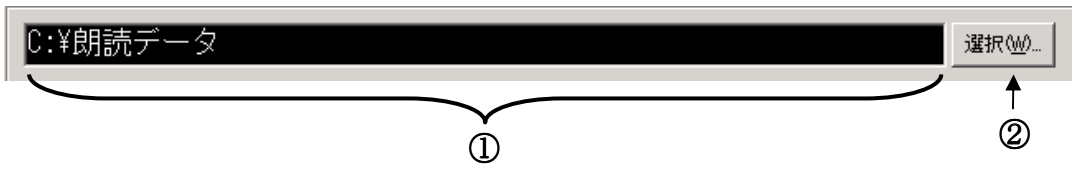
①巻戻しボタン	
	巻戻します。 ボタンを押す回数によって、より早く巻戻すことができます。 （1 回：10 倍速　2 回：120 倍速　3 回：600 倍速） ショートカットキーでは A を押します。
②早送りボタン	
	早送りします。 ボタンを押す回数によって、より早く早送りすることができます。 （1 回：10 倍速　2 回：120 倍速　3 回：600 倍速） ショートカットキーでは S を押します。
③再生ボタン	
	Wave ファイルを再生します。 ショートカットキーでは D またはスペースキーを押します。
④録音ボタン	
	Wave ファイルに音声を録音します。ボタンを一度押すと、録音一時停止状態になり、もう一度押すと録音が始まります。 ショートカットキーでは F を押します。
⑤一時停止ボタン	
	録音・再生を一時停止します。 もう一度ボタンを押すと、録音・再生を再開します。 ショートカットキーでは G を押します。
⑥停止ボタン	
	録音・再生を停止します。 ショートカットキーでは H またはスペースキーを押します。
⑦HEAD ボタン	
	Wave ファイルの先頭へ移動します。 （再生・録音中は押すことができません。） ショートカットキーでは C を押します。
⑧TAIL ボタン	
	Wave ファイルの末尾へ移動します。 （再生・録音中は押すことができません。） ショートカットキーでは V を押します。

5



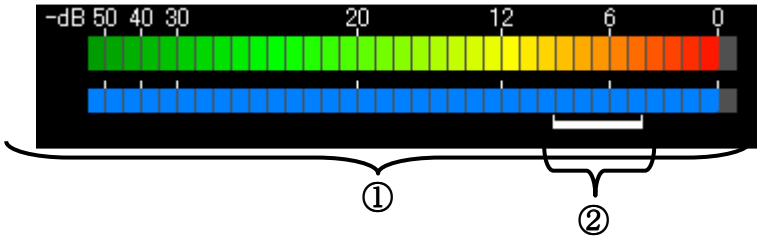
①ファイルリスト	
	選択したフォルダ内にある Wave ファイルを表示します。 F2キーを押すと、ファイルリスト内を矢印↑↓キーで カーソルを移動することができます。 また、リストの内容が更新されます。
②決定ボタン	
	作業する Wave ファイルを決定します。 ショートカットキーでは Alt+E を押します。
③新規作成	
	新しい Wave ファイルを作成します。 ショートカットキーでは Alt+N を押します。
④削除ボタン	
	Wave ファイルを削除します。 ショートカットキーでは Alt+D を押します。
⑤分割ボタン	
	一つの Wave ファイルを二つに分割します。 ショートカットキーでは Alt+C を押します。
⑥結合ボタン	
	二つの Wave ファイルを一つに結合します。 ショートカットキーでは Alt+J を押します。

6

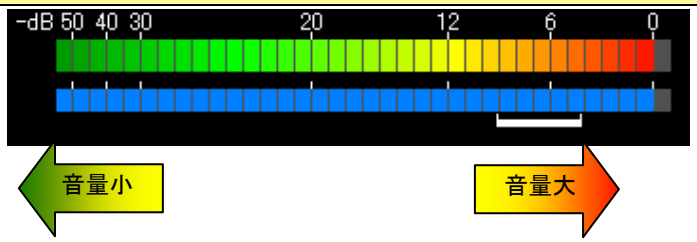


①選択フォルダ表示	
C:¥朗読データ	現在選択している保存先のフォルダを表示します。
②選択ボタン	
選択(W)...	新規作成または編集・再生したい Wave ファイルの保存先フォルダを選択します。 ショートカットキーでは Alt+W を押します。

7



①音量レベルメーター



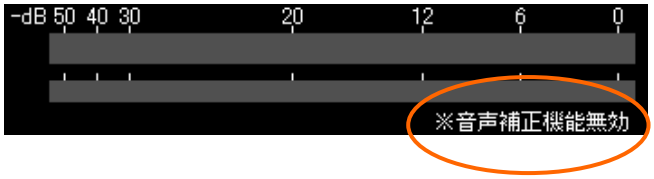
補正した音
補正前の音

再生・録音中の音量レベルが表示されます。
右にいくほど音量レベルは高く、左にいくほど音量レベルは低くなります。

②目標範囲

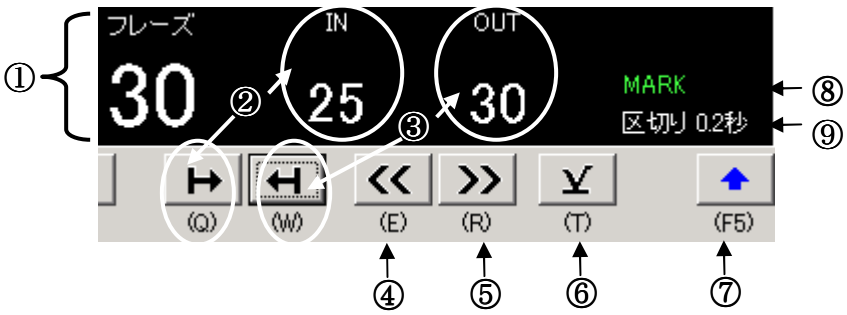
声の大きさの目標とする範囲を示します。

②音声補正機能無効
（詳細は【4-1. 録音前の設定】(3)テスト録音を参照して下さい。）



テスト録音に失敗した場合、ここに表示されます。表示中は、録音は可能ですが音声補正機能は動作しません。

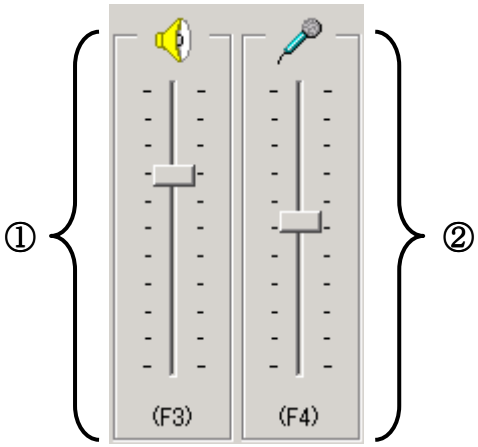
8



①フレーズ	
	フレーズとは、ある一定の長さで区切られた音声のかたまりのことをいい、フレーズ毎に左図のような番号がつきます。 ここでは現在位置のフレーズが表示されます。
②INボタン （詳細は7. IN・OUT の操作を参照して下さい。）	
（ボタン） （表示）	フレーズの開始位置を指定します。 開始位置にしたいフレーズ番号を表示させた後、[IN]ボタンを押すと、左下図のように指定することができます。 もう一度押すと、指定を取り消すことができます。 ショートカットキーでは Q を押します。
③OUT ボタン （詳細は7. IN・OUT の操作を参照して下さい。）	
（ボタン） （表示①） （表示②）	フレーズの終了位置を指定します。 終了したいフレーズ番号の次の番号を表示させた後、[OUT]ボタンを押すと、表示①のように指定することができます。 [OUT]ボタンを 2 回押すと、フレーズ番号を固定することができ、表示②のように赤く変わります。 さらにもう一度押すと、指定を取り消すことができます。 ショートカットキーでは W を押します。
④BACK ボタン	
	現在表示されているフレーズから前のフレーズへ戻ります。 ショートカットキーでは E を押します。
⑤NEXT ボタン	
	現在表示されているフレーズから次のフレーズへ進みます。 ショートカットキーでは R を押します。

⑥MARK ボタン （詳細は8. フレーズの移動を参照して下さい。）	
（ボタン） （表示）	聞きたいフレーズ番号を表示させて MARK ボタンを押すと、 フレーズの背景が緑色に変わります。 MARK 設定を行うと、瞬時に聞きたい場所へ移動できます。 ショートカットキーでは T を押します。
⑦表示切替ボタン	
	全体画面と縮小画面を切り替えることができます。 ショートカットキーでは F5 を押します。
⑧MARK 表示	
	[フレーズ操作]メニューで[MARK 検索]を設定すると 表示されます。 詳細は【8-2-2.MARK チェックを使ったフレーズ移動】を 参照して下さい。
⑨区切り設定表示	
	現在の区切り設定の数値が表示されます。 詳細は【6-3.区切り設定の変更】を参照して下さい。

9



①再生音量 （詳細は【6-1.音量設定】を参照して下さい。）
 再生音量の設定をします。 上にあげるほど、再生音量は大きくなります。 （USB 音源に接続の場合、ここではボリュームを調節できない場合もあります。） ショートカットキーでは F3 を押した後、矢印キーが使用できます。
②マイク音量 （詳細は【6-1.音量設定】を参照して下さい。）
 マイク音量の設定をします。 上にあげるほど、マイク音量は大きくなります。 （USB 音源に接続の場合、ここではボリュームを調節できない場合もあります。） ショートカットキーでは F4 を押した後、矢印キーが使用できます。

【2-5.準備が終ったら】

Recdia 画面が表示できたら、さっそく録音作業・再生作業をしてみましょう。

◆ファイル操作（全般）については、3. ファイル操作を参照して下さい。
◆録音作業については、4. 録音するを参照して下さい。
◆再生作業については、5. 再生するを参照して下さい。
◆校正票については、別冊『校正票操作マニュアル』を参照して下さい。